

東京都市大学生の燃料工場（MNF）見学 概要報告（針山）

日時：平成 30 年 8 月 7 日 13 時半～17 時

訪問先：三菱原子燃料 東海本社&工場

参加者：（MNF）石川総務部長、小林総務副部長、磯野総務課長、小宮山総務担当
（都市大）工学部原子力安全工学科：3 年生 7 名、1 年生 3 名（女子 2 名）計 10 名
（シニア）報告者が引率役として参加

【見学会概要とスケジュール】

原子力に関心を有す都市大の学生達の希望で燃料工場見学を企画したもの。

13 ; 45	常磐線東海駅より MNF バスで工場へ到着
13 : 50～14 : 40	会社概要、燃料工場事前説明
14 : 50～16 : 40	工場見学、工場内での記念撮影
16 : 40～17 : 10	質疑応答
17 : 20	東海駅で解散

【活動成果等】

今回は訪問先の三菱原子燃料（株）の好意で全ての燃料制作工程を約半日かけてつぶさにじっくり見学する機会を得た（UF、原料貯蔵所、再転換工程、ペレット製造工程、燃料棒製造工程、燃料ノズル製造工程、集合体組み立て工程など）。学生達にとっては原発用燃料工場内部詳細を視覚的・体感的に理解実感できた印象深い見学会となった。又、日本のエネルギーの一端を支える燃料工場の人々と接することによりエネルギー産業への親近感も沸いたようであり、質疑応答の時間では技術的な質問以外に工場で働く人の安全意識や日常生活などについて活発なやり取りがあった。

なお、MNF ではこの秋より新規規制基準への適合の為の耐震・竜巻対策の大型改造工事が展開される予定とのことで、この先 1 年半ぐらいは一般の見学は不可となる。

【所感】

SNW の理解促進拡大活動はここに来て対話会活動の活性化を基軸に各種見学会や一般社会人との企画など多様化の兆しが出ている。今後も会として多様化路線を進めるのであれば活動方針・活動内容の中期年度展開の吟味策定が必要となろう。

以上

